



富士通株式会社による完全子会社化について

4月28日の取締役会において富士通株式会社（以下富士通）による当社の普通株式に対する公開買付けに関して、賛同の意見を表明するとともに、当社の株主の皆様に対して、本公開買付けへの応募を推奨することを決議いたしました。当該決議は、富士通が本公開買付け、およびその後の一連の手続により富士通の完全子会社とすることを企図していること、ならびに当社株式が上場廃止となる予定であることを前提として行われたものです。詳細は下記のとおり。

記

1. 完全子会社化の目的

当社および富士通による継続的な協議の結果、顧客基盤の拡大を通じた事業価値向上を実現のために、完全子会社化後に当社の事業を分割し、富士通と一体で、更なる両社の成長に向け、各事業体の特性に合った迅速な戦略を実施することが、現在の両社の企業価値向上に資するだけでなく、お客様、取引先、従業員の皆様を含むあらゆるステークホルダーの皆様にとっての価値最大化のために必要であるとの結論に至りました。

(1) エンタープライズ向け事業（主にクラウド事業）

- ① 富士通と当社との緊密な連携により、富士通の保有するクラウドビジネスのノウハウおよび顧客基盤を共有・活用するとともに、当社が培ってきたノウハウと富士通のインフラサービスを組み合わせることによって商品ラインナップを拡充する等、更なる事業基盤の拡大を目指します。
- ② 特に、売上成長が顕著な「ニフティクラウド」については、一般企業やベンチャー企業の新規ビジネス立ち上げに俊敏に対応できる「ニフティクラウド」の特長を活かして、富士通の注力ビジネスであるデジタルビジネスプラットフォーム「MetaArc」のラインナップに加えることにより、富士通グループの商品との一体型ソリューションを拡充するとともに、富士通グループの営業力を最大限に活用した販売の拡大を図ります。

(2) コンシューマー向け事業（主にISP事業）

富士通と当社が培ってきた独自のノウハウや経営資源を相互に有効活用しつつ、当該事業に対する知見を有する外部パートナーとの連携・アライアンスを含めた抜本的施策の実施により、事業構造の変革を検討し、収益性の追求とサービスの向上を目指します。

2. 背景

(1) 当社の事業環境

当社事業はそれぞれにおける環境変化の下にあり、これらの事業環境変化を変革のための大きなビジネスチャンスと捉えて成長を追求していく必要があるとともに、各事業において専門性を活かしながら、より迅速な経営判断で他社に先んじた施策を実行していくことが、現在の当社にとって重要であると考えられます。

(2) 提携効果等

完全子会社化により、相当の効果が見込まれるとともに、事業特性に応じた最適な顧客獲得戦略の策定および効率的な経営資源の投下が重要であり、これを可能とするためにも、富士通と当社がそれぞれ行っている既存の事業の枠組みを早期に整理し、組織体制や経営戦略の再構築を迅速に実行することが、当社の中長期的な事業価値の向上に有効な施策と考えられます。

3. 実施概要

(1) 取引スキーム

① 買付価格

1株あたり、1495円（株式価値 約340億円）

② 公開買付期間

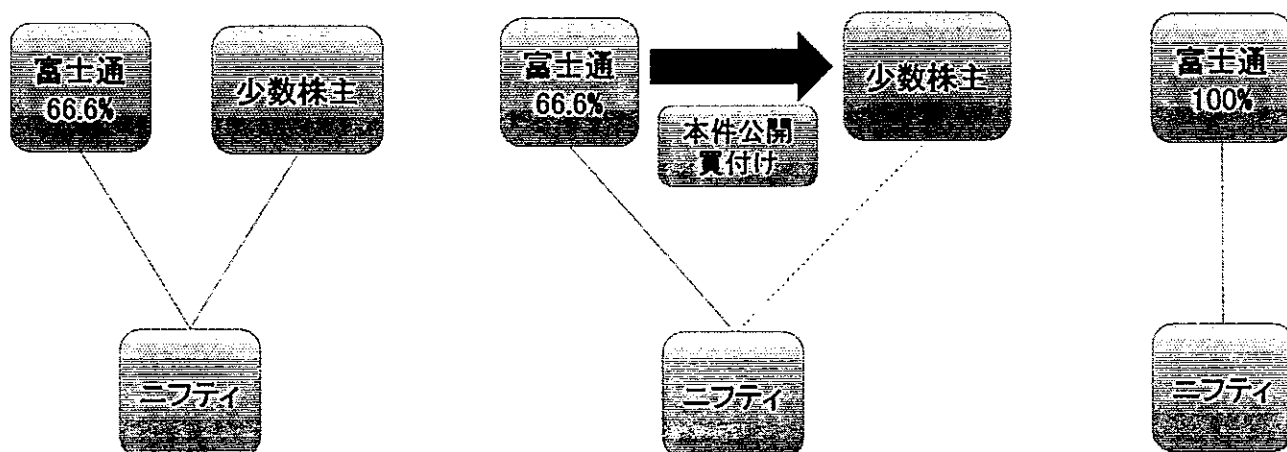
2016年5月2日～2016年6月15日（30営業日）

応募株券等の全部の買付け等を行う予定です。本件公開買付けにより、当社普通株式の全てを取得できなかった場合には、本件公開買付けの成立後に、いわゆる二段階買収のための一連の手続の実施を予定しています。本件公開買付けの結果または本件公開買付け後の二段階買収の実行により、当社株式は上場廃止となる見込みです。

【現 状】

【本件公開買付け】

【完全子会社化】



4. スケジュール

4月28日	公開買付けの発表
5月2日	公開買付け開始
6月15日	買付け期間の終了
7～9月	二段階買収／上場廃止／完全子会社化

5. 事業分割および従業員の取り扱い

事業分割の具体的な方法等については未定です。従業員の処遇について本公開買付けならびに完全子会社化によって変更する予定はありません。

以上